

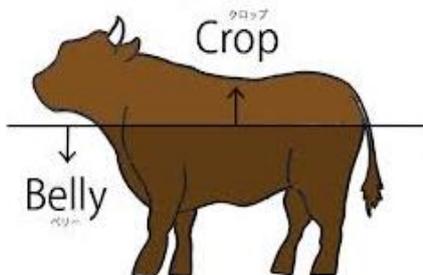
レイケアニュースレター Laycare

VOL.30

革は人間の肌が部位(背、腹など)や個人個人によって厚みやきめの細かさ、手触りが違うように、一枚として同じものはありません。それぞれの特色を利用していろいろな製品がつくられています。

革の中でも代表格である牛の革について調べてみました。

基本的には肉牛の皮の背中からわきまでの部位を使います。表面に加工を施し牛革以外の皮にみえるように加工する事もあります。牛革は主に、年齢や雄雌の違いなどでさらに細かく分類されます。皮革製品として安定した供給量が確保でき、皮革面の美しさ、頑丈さなどの面で利用価値が最も高い皮革です。



皮の背線で2分割(半裁)し、さらに腹部及び四肢の上部を背線に平行に切り分けます。

クロップは上質な革としていろいろな製品に使用されます。

ベリーは、繊維密度は極めて細く緩い。また柔らかく伸びやすい特徴があります。そのため耐久性に乏しく負荷のかかるデザインには使用しません。

革の大きさの単位はデシ

革の取引では主に面積によって価格が決まります。単位は「デシ平方メートル」(dm²)(通称「デシ」といいます。10センチ角の正方形の面積をデシ平方メートルといいます。

デシあたり〇〇円として一枚の皮の価格を決めています。

革の形は局面でできているので正確な面積は専用の機械で測定しています。

牛の半身の革はだいたい250デシになります。革靴は一足20デシ、ハンドバックは65デシ、財布は10デシが使われます。

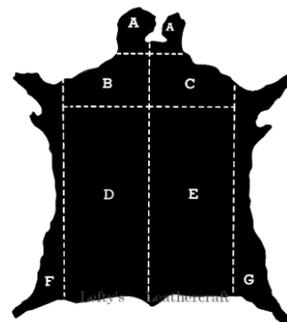
大人の学習Ⅱ

Lesson2

革の話

革にはいろいろ呼び名がある

牛革は、皮をとる牛の年齢やオスメスの違いなどにより様々な呼び名があり、またそれぞれの持つ性質が異なっています。北米ものが最も多く、ついでオーストラリア、カナダとなっています。なお、日本国内で生産された牛革は※「ジナマ」と呼ばれます。



仔牛革	腹仔（ハラコ）	まだ出生していない胎児の毛皮。革自体も薄くて柔らかく良質、表皮と一体化しているような美しい毛並みが特徴 (産前に死亡した牝牛のお腹にいた腹子や、死産した子牛から採られます)
	カーフスキン	生後6ヶ月ぐらいまでの仔牛の革。薄くキメが細かく、しなやかで傷が少ない。耐久性を高めるためクローム鞣で革にする商品が一般的。キメが細かさでNo1の牛革です。半裁ではなく丸革（一頭）で販売されています。
中牛革	キップスキン	生後6ヶ月～2年程度の牛の革。カーフよりもキメは粗いが厚みがあり強い。成牛と比べ使用できる面積が小さいので、財布など小物によく利用されます。
成牛革	カルピン・ハイド	生後2年以上の未産の雌牛のもの。成牛革ではもっとも上質とされている。
	カウ・ハイド	生後2年以上の出産経験のある雌牛のもの。革は厚く柔らかで丈夫。繊維密度はやや粗くゆるい。柔らかさを必要とするバッグなどに使用される革です。一般的なバッグにはカウ、ステアどちらかを使用。
	ステア・ハイド	生後3～6ヶ月の間に去勢した雄の牛革で生後2年以上たったもの。革も厚く強い。硬いメンズバッグなどに使用される革です。一般的なバッグにはカウ、ステアどちらかを使用。
	ブル・ハイド	生後3年以上で未去勢のもの。キメは粗いが厚くて丈夫だが、傷が多くみられる。主に靴底等に用いられる。

参考文献:「革の基礎知識」ほか

※ちなみに「ジナマ」とは

日本独自の牛革の呼び名です。日本では昔、牛の皮は生皮のまま取引されていたことから、ジナマ（地生）と呼ばれていました。今では、日本国産の牛革のことをさします。一般的に、国産の牛革は管理状態がよいことから、品質が高い皮として人気があります。

革は基本、肉の副産物として皮から革へ鞣され、靴、鞆など私たちの生活に必要な製品になります。皮革製品は、人間が使い、手の油などが製品につくことで革が保護されます。大切に使うこと（触ること）が日々の革製品のケアとなります。

時々、乾いた柔らかい布で革の表面を拭き、ブラッシングして汚れを落としてあげましょう。革にある油分が表面に出てくることでツヤが生まれます。

お試しください。

株式会社レイケアセンター
〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-10 本町永和ビル8階
06-6245-7441
東京レイケアセンター
〒163-0809 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル9階東
03-6279-0840

レイケアニュース編集室
今月のレイケアニュースはいかがでしたでしょうか。
ご意見ご感想をお寄せ下さい。
「レイケアニュース編集室」
Info@laycare.co.jp